

| | | | |
|--------|--------------------|-----|-------|
| 施設名 | 青梅市図書館(中央1館・分館9館) | | |
| 指定管理者名 | TRC青梅グループ | | |
| 指定管理期間 | 令和2年4月1日～令和3年3月31日 | 担当課 | 社会教育課 |
| 設置目的 | 青梅市図書館を運営するため | | |

| 評価ランク | 評価内容 |
|-------|--------------------------------------|
| S | 協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。 |
| A | 協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。 |
| B | 協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。 |
| C | 協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。 |

| 評価項目 | 評価内容 | 評価方法 | 指定管理者評価 | 評価理由 | 担当課評価 | |
|------------|---|--|---|--|---|---|
| 管理状況 | 適性な管理の履行 | 協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など | ・協定書 ・年度協定書 ・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書 ・緊急連絡先提出(緊急事態宣言による臨時休館中の連絡先) | A | ・協定に則り事業計画書を作成し、適切に実施した。 ・施設管理に関しては、実施担当者や巡回担当者と適切に連絡を取り合っており、協定等に則った管理に務めた。 | A |
| | 事業報告 | 定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。 | ・職員配置表 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書 | A | ・提出すべき報告書等に関しては、期限内で提出、連絡した。 | A |
| | 安全性の確保 | 管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など | ・協定書 ・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・ヒアリング | A | ・施設内の安全性に関しては、常に留意し、協定等に則った管理を実施している。 | A |
| | 法令等の遵守 | 個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など | ・ヒアリング | A | ・個人情報保護に関する規定を順守し、年に一度は実施される監査においても指摘事項はなく、問題発生時は市に報告を行っている。 | A |
| | 業務記録 | 業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。 | ・ヒアリング | A | ・業務報告書や、個人情報については、適正に作成、整理している。 | A |
| | 緊急時対応 | 災害時等の緊急時の体制は整っているか。 | ・危機管理マニュアル | A | ・危機管理マニュアルに沿い、緊急時の連絡の体制を整えています。 | A |
| | | 災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。 | ・危機管理マニュアル ・連絡調整会議資料 | A | ・火災に備えた避難訓練は、年に一度以上(昨年度は二度)実施している。 | A |
| 適切な財務・財産管理 | 適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など | ・連絡調整会議資料 ・事業報告書 ・ヒアリング | A | ・修繕費の範囲での軽微な損壊等には修繕費を充てながら修理等を実施している。 | A | |
| 事業効果等 | 事業の取組 | 事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など | ・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書 | A | ・年度当初から新型コロナウイルス感染症拡大により、感染対策に努めて計画したが、利用者が入場する催し物が一部開催不可能となった。 | A |
| | 利用の状況 | 事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮) | ・年度協定書 ・連絡調整会議資料 ・事業報告書 | A | ・年度当初から新型コロナウイルス感染症拡大により、感染対策に努めて計画したが、利用者が入場する催し物が一部開催不可能となった。 | A |
| | 利用者意見の収集 | 利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか | ・利用者アンケート | A | ・毎年、アンケートを実施している。利用者のご意見聴取については随時実施した。 | A |
| | | 利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か | ・利用者アンケート | A | ・利用者の満足度は95%程度で、職員の接客対応に関してもほぼ同程度の数値となった。 | A |
| | 利用者意見に対する対応 | 利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか | ・連絡調整会議資料 | A | ・改善が可能なご案件や要望であれば、すぐに改善できるように努めた。 | A |
| | 行政目的の達成 | 行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など | ・連絡調整会議資料 | A | ・市の各部署からのご提案される展示に関しては、ご要望に沿いつつ、もれなく連携して実施している。分館も同様。 | A |
| その他提案内容等 | 指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか | ・連絡調整会議資料 | A | ・提案事業のうち、「デジタル発信による地域資料の活用効率化」については、映像・音声資料のデジタル化を、ご要望に沿う形で随時実施した。 | A | |

| | | | | | | |
|------|--------------|--|----------------------|---|---|---|
| 会計 | 処理 | 管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。 | ・ヒアリング | A | ・会計処理に関しては、帳簿、書類の整備・保存をもれなく実施した。 | A |
| | 管理 | 現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。 | ・ヒアリング | A | ・現金の管理は適正に実施している。金庫の鍵に関しては、適切に管理した。 | A |
| 収支状況 | 施設の収支決算状況 | 赤字決算に陥っていないか。予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。 | ・第42期事業報告(図書館流通センター) | A | ・事業報告書から、赤字決算とはなっていない。 | A |
| | 指定管理者の収支決算状況 | 経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。 | ・第42期事業報告(図書館流通センター) | A | 赤字決算とはなっていない。 | A |
| | | 借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。 | ・第42期事業報告(図書館流通センター) | A | 自己資本比率は58%程度となっており、借入金に依存した資本構造とはなっていない。 | A |
| | | 流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。 | ・第42期事業報告(図書館流通センター) | A | 流動資産÷流動負債=149%となっており、健全な財務状況で、事業継続に問題はない。 | A |

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

| 評点 | 数 | 記入欄 |
|----|----|--|
| S | 0 | <p>青梅市図書館の指定管理業務を、第1期5年間実施し、開館時間の延長や、おはなし会の充実にも努めるなど、利用者の利便性の向上や読書に親しむ機会を増大させてきました。また、平成30年度から実施した、市内26校(東小学校、東中学校を除く)への学校図書館支援も学校からは高い評価をいただいております、学校図書館との連携もより充実すべく事業を推進させているところです。</p> <p>来年度からは第2期の事業展開への承認をいただいたことから、引き続き弊社の持つ図書館運営のノウハウを最大限活用することによって、市民の読書活動の支援を図ると共に、さらに多くの市民が利用できる図書館運営を心がけていきます。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、図書館は年度当初2か月弱を休館とせざるを得ない状況となっており、館内でのおはなし会や講演会、朗読会、整架ボランティアの活動は中止とせざるを得ない状況となりました。感染予防対策に努めた計画を立てましたが、事業計画通りに実施できなかった事業がありました。</p> |
| A | 21 | |
| B | 0 | |
| C | 0 | |

2 市の評価、意見等

| 評点 | 数 | 記入欄 |
|----|----|--|
| S | 0 | <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が発令されたことにより、連絡調整会議を「書面開催」とした時期もあったが、その他の月については、連絡調整会議を毎月実施し業務状況を把握することができた。また、日頃からコミュニケーションがとれ、日常の意思疎通および情報共有ができています。</p> <p>人材育成に努め、職員の研修や教育(新人研修、学校司書研修等)を行い、能力向上に努めている。また、新型コロナウイルス感染症対応として、オンライン研修(図書館サービス研修、障害者サービス研修等)を実施している。</p> <p>図書館資料の選書について選書会議を必ず実施し、資料収集基準等にもとづき管理している。</p> <p>年間を通し、新型コロナウイルス感染症のため事業が計画通りに実施できなかったが、感染状況を見ながらサービスの再開や事業実施について方法を含め検討し、事業の一部を実施することができている。</p> |
| A | 21 | |
| B | 0 | |
| C | 0 | |